

授業科目 医学一般 I

【担当教員名】 佐久間 真由美	対象学年	3	対象学科	社会
	開講時期	前期	必修選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【ディプロマポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	◎	○	

【概要・一般目標：GIO】
 医学に関する一般的な知識の習得は、福祉の現場においても非常に重要であり、チーム医療で様々な他職種の関係者と円滑に物事をすすめるにあたっては、医学的な共通の認識事項の理解が必要不可欠となっている。講義では新カリキュラムに沿って、主として社会福祉士に必要かつ実践的な医学知識について学び習得する。
 (介護福祉コース選択者は、本科目で学ぶことによってからのしくみを理解し、移動や食事等の具体的な介護実践において活かせるように学びを深めてもらいたい)

【学習目標・行動目標：SBO】
 1) 心身機能と身体構造及び様々な疾病や障害の概要について、人の成長・発達や日常生活との関係を踏まえて理解する。
 2) 国際生活機能分類 (ICF) の基本的考え方と概要について理解する。
 3) リハビリテーションの概要について理解する。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	人の成長・発達 (1)	1	身体・精神の成長・発達
2	人の成長・発達 (2)	1	老化
3	心身機能と身体構造の概要 (1)	1,3	人体部位の名称、各器官等の構造と機能 1
4	心身機能と身体構造の概要 (2)	1,3	各器官等の構造と機能 2
5	疾病の概要 (1)	1,3	生活習慣病・悪性腫瘍・脳血管疾患
6	疾病の概要 (2)	1,3	心疾患・高血圧・糖尿病
7	疾病の概要 (3)	1,3	呼吸器・消化器・血液・膠原病
8	疾病の概要 (4)	1,3	腎臓・泌尿器・骨関節
9	疾病の概要 (5)	1,3	感覚器・感染症・神経難病
10	障害の概要 (1)	1,3	神経難病・先天性疾患・視覚障害
11	障害の概要 (2)	1,3	聴覚・平衡機能障害、肢体不自由・内部・知的・発達障害
12	障害の概要 (3)	1,3	認知症・高次脳機能障害・精神障害
13	リハビリテーションの概要	3	リハビリテーションの概念と範囲
14	国際生活機能分類 (ICF) の基本的考え方と概要	2	ICFの構成要素・演習
15	健康の捉え方	1	健康の概念

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	新社会福祉士養成講座第1巻 一般 人体の構造と機能及び疾病	医学 社会福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	2011・2,200円＋税
参考書	特になし			
その他の資料	必要に応じ配布			

【評価方法】 筆記試験、授業態度	【履修上の留意点】 ・ノート、筆記用具の用意。 ・私語は迷惑行為との認識がない学生が最近多いです。私語はしないこと。
---------------------	--